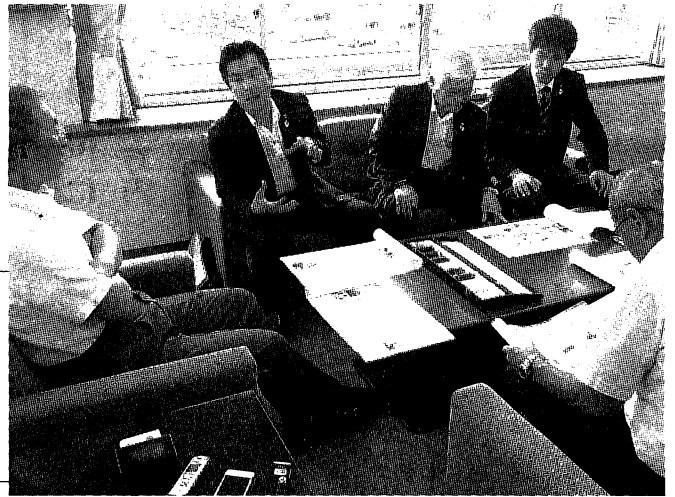


被災地での除染関連事業報告

ネオナイトの寺山社長、松江市長に

鉱物のゼオライトを
主原料に、汚水の高性能
処理剤「ネオナイト」を製造する、株式会社
ネオナイト(本社・松江
市富士見町)の寺山文
敬訪問。東日本大震災



松浦市長に活動を報告した寺山社長(左から2番目)

や福島第一原発事故の被災地で進める除染関連事業や、海外での水環境改善事業の内容を報告し、松浦市長から激励を受けた。

同社の「ネオナイト」は、被災地での汚染水処理に採用されているほか、国による木材除染システムの構築やその延長で小規模地域分散型の木質バイオマスガス化発電にも活用されている。また政府開発援助(ODA)を活用し、南米ペルーでの水環境浄化プロジェクトにも携わっている。木材除染については

福島で伐採した木を同社が「ネオナイト」で洗浄してから皮をはぎ、発電用のチップを製造している。被災地の活動について、寺山社長は「山から持ち出さないと除染が進まない。汚染された地域なので、除染をどううまく組み合わせるかが木材利用を進めるかがテーマ」だと松浦市長に説明した。